

【2021.12.25 発信 VOL.56】

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.56 は、以下の内容でお届けします。

- 今年の漢字は「勝」
 - 令和3年度補正予算について
 - 令和4年度予算の政府原案について
 - 「新しい農村政策の在り方検討会」「長期的な土地利用の在り方検討会」について
 - 国土審議会第3回計画部会について
 - 「第5回インフラメンテナンス大賞」の受賞者の決定について
 - 年末年始の牛乳消費拡大に向けて「NEW（乳）プラスワンプロジェクト」開始！
 - 鳥インフルエンザに関する情報について
 - 新型コロナウイルス感染症に関する情報について
 - コロナ禍の中で抗原検査等を随時行い各種講演を慎重に実施
 - 活動状況(2020.12.1～12.22)
-

■ 今年の漢字は「勝」

参議院議員の進藤金日子です。

- ・日本漢字能力検定協会は、漢字一字を全国から募集し、東京五輪・パラリンピックの金メダルラッシュなど、今年の世相を表現する漢字一字で、私の名前の「金」に決定し、公表しました。
- ・私の今年の漢字は「勝」です。農林水産業や農山漁村を取り巻く現状は、少子高齢化、人口減少、自然災害、コロナ禍の影響を受けた経済社会活動などの政策課題が山積しております。その政策課題の解決のため、私自身の来年に向けた目標である第26回参議院議員通常選挙での「必勝」を目標にして「勝」を選びました。
- ・今年も残り数日になり、このところ新型コロナウイルス感染症の新たな変異株であるオミクロン株の拡大が懸念されるところですが、これまでどおりの基本的な感染防止対策の取り組みを徹底して参りましょう。
- ・皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症のみでなく、インフルエンザにもご留意の上、素晴らしい新年をお迎えください。

■ 令和3年度補正予算について

・農林水産関係の令和3年度補正予算が臨時国会で成立、総額 8,795 億円となっております。

・農林水産公共予算は、農業農村整備関係事業予算は 1,832 億円、森林整備事業 461 億円、治山事業 306 億円、水産基盤整備事業 270 億円です。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(農水省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r3hosei.html>

■ 令和4年度予算の政府原案について

ア. 農林水産関係予算

・農林水産省関係の令和4年度予算は、総額 2 兆 2,777 億円です(デジタル庁計上の政府情報システム予算を除く)。

・食料安全保障の確立、国土の保全等に向けて、次の重点事項が総合的に実施されます。

(令和4年度農林水産関係予算の重点事項)

- 1 生産基盤の強化と経営所得安定対策の着実な実施
- 2 2030 年輸出 5 兆円目標の実現に向けた農林水産物・食品の輸出力強化、食品産業の強化
- 3 環境負荷軽減に資する「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた政策の推進
- 4 スマート農業、eMAFF等によるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 5 食の安全と消費者の信頼確保
- 6 農地の最大限の利用と人の確保・育成、農業農村整備
- 7 農山漁村の活性化
- 8 カーボンニュートラル実現に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長
- 9 水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化
- 10 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(農水省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r4kettei.html>

・令和4年度に執行可能な予算は、令和3年度補正予算 8,795 億円、令和4年度当初予算 2 兆 2,777 億円(デジタル庁計上の政府情報システム予算を除く)を合わせた「16 ヶ月予算」として約 3 兆超の予算規模を確保し、諸課題に取り組むこととなります。

イ. 農業農村整備事業関係予算

・農業農村整備事業関係の令和4年度執行可能な予算は、既に成立した補正予算「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」1,012 億円、TPP対策 774 億円、米の臨時特別対策 46 億円と、当初予算には 4,453 億円(デ

デジタル庁計上の政府情報システム予算を除く)を計上し、総額 6,285 億円(デジタル庁計上の政府情報システム予算 15 億円を含めると 6,300 億円)となります。

- ・予算の総額は前年度と同額ですが、全国各地から要望の大きかった、当初予算においては対前年比 23 億円を増額できる見込です。
- ・厳しい財政事情の中で、諸課題の解決に必要な所要額の予算が確保できたのは、全国の皆様のおかげと感謝するとともに、予算案、関係法案の早期成立に向けて全力で取り組んで参ります。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい。

<https://drive.google.com/file/d/1rUn6k-tHUyymvO7ls-2oSPLG5-q5o3tM/view?usp=sharing>

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(農水省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/soumu/yosan/index.html>

ウ.林野庁関係予算

- ・林野庁関係の令和 4 年度執行可能な予算は、既に成立した補正予算 999 億円、当初予算は 2,874 億円(デジタル庁計上の政府情報システム予算 8 億円を除く)を計上し、総額 3,864 億円となります。
- ・そのうち、森林整備・治山関係予算は、補正予算は 767 億円(森林整備 461 億円、治山 306 億円)、当初予算 1,869 億円(森林整備 1,248 億円、治山 620 億円)を計上し 2,636 億円となります。
- ・林野公共関係予算は、森林整備・治山関係予算に路網の整備・機能強化対策(非公共)の 64 億円を合わせて、林野公共関係予算として総額 2,700 億円となります。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(林野庁ホームページ)。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R4kettei.html>

エ.水産庁関係予算

- ・水産庁関係の令和 4 年度執行可能な予算として、既に成立した補正予算 1,272 億円、当初予算は 1,919 億円(デジタル庁計上の政府情報システム予算 9 億円を除く)を計上し、総額 3,192 億円となります。
- ・そのうち、水産基盤整備関係予算は、補正予算 270 億円、当初予算 727 億円計上し、総額 997 億円となります。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(水産庁ホームページ)。

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/budget/index.html>

オ. 農林水産関係税制改正

- ・農林水産物及び食品の輸出の促進に向けた施設整備への特例、環境負荷低減に向けた「みどりの食料システム戦略」の実行に向けた機械、施設整備への特例については、いずれも通常国会への関連法案提出が前提となっている。
- その他、固定資産税の軽減など既存措置の所要の延長が行われます。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(農水省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/tyosei/211224.html>

カ. 農林水産省の組織・定員要求

- ・農林水産物・食品の輸出の更なる拡大、生産基盤の強化、持続可能な食料システムの構築等に向け、農林水産行政をめぐる諸課題に的確に対応するため所要の体制整備を図ることとされています。主要事項は、以下のとおりです。
- ・「みどりの食料システム戦略」を着実かつ強力で推進するため、「持続可能食料システム調整官(仮称)」を設置。
- ・外国漁船に対する漁業取締体制を強化するため、「外国漁船対策室(仮称)」を設置。
- ・水産流通適正化制度の運用を整備するため、「水産流通適正化推進室(仮称)」を設置。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(農水省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/hisyo/211224.html>

※予算関係の財務省公表資料は以下のアドレスから参照願います。

- ・財務省ホームページ

https://www.mof.go.jp/policy/budget/budger_workflow/budget/fy2022/seifuan2022/index.html

■ 「新しい農村政策の在り方検討会」「長期的な土地利用の在り方検討会」について

- ・12月10日、農林水産省は、「新しい農村政策の在り方検討会」(第11回)及び「長期的な土地利用の在り方検討会」(第9回)の合同会議を開催した。
- ・中間取りまとめの方向性を踏まえた対応状況について議論が行われました。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(農水省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/study/nouson_kentokai/farm-village_meeting.html

https://www.maff.go.jp/j/study/tochi_kento/index.html

■ 国土審議会第3回計画部会について

- ・12月20日、国土交通省は、国土新開計画部会を開催しました。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(国土交通省ホームページ)。

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s103_keikaku03.html

■ 「第5回インフラメンテナンス大賞」の受賞者の決定について

- ・農林水産省は、他省庁とともに、社会資本のメンテナンスに係る優れた取組を表彰する「インフラメンテナンス大賞」を実施し、この度、「第5回インフラメンテナンス大賞」の農林水産大臣賞等を決定、発表しました。
- ・農林水産大臣賞は、北海道水産林務部水産局漁港漁村課(北海道)。湯沢雄勝土地改良区(秋田県湯沢市)。国立研究開発法人農業・食品産業技術総合

研究機構（茨城県つくば市）。

- ・特別賞は、国土防災技術株式会社（東京都港区）。日之影土地改良区（宮崎県西臼杵郡日之影町）。（株）ワールドスキャンプロジェクト（東京都新宿区）。
- ・優秀賞は、新潟県長岡地域振興局農林振興部（新潟県）です。
受賞おめでとうございます。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/keityo/211203.html>

■ 年末年始の牛乳消費拡大に向けて「NEW（乳）プラスワンプロジェクト」開始！

- ・12月17日、農林水産省は、～毎日牛乳をモ～1杯。冬でも牛乳をモ～1杯。～をキャッチフレーズに、牛乳の消費拡大に向け、「NEW（乳）プラスワンプロジェクト」を開始しました。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_gyunyu/211217.html

■ 鳥インフルエンザに関する情報について

- ・国内の家きん飼養農場で高病原性鳥インフルエンザが発生しています。鳥インフルエンザに関する情報について掲載いたします。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

■ 新型コロナウイルス感染症に関する情報について

※新型コロナウイルスに関する情報については、以下のアドレスから参照願います。なお、最新の情報を入手するよう留意願います。

- ・新型コロナウイルス感染症が鎮静化してきましたが、まだまだ第6波到来の恐れもあり、これまでどおりの三密の回避、マスクの着用などの感染対策が引き続き必要です。

(首相官邸ホームページ)

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

(内閣官房ホームページ)

<https://corona.go.jp/>

(厚生労働省ホームページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

(自由民主党ホームページ)

<https://www.jimin.jp/covid19/>

■ コロナ禍の中で抗原検査等を随時行い各種講演を慎重に実施

- ・ 12 月 1 日、佐賀市で開催の「土地改良区役職員研修会」において、「最近の農政を巡る状況と今後の展開方向」と題して講演しました。
- ・ 耕地利用率が全国一位で農地集積率も高い佐賀県ですが、土地利用型農業から集約型農業への転換による農家所得の向上に向けて「さが園芸 888 運動」(令和 10 年までに園芸産出額を 888 億円とする運動)を展開しており、土地改良の役割は益々大きくなります。
- ・ 12 月 3 日、秋田県湯沢市で開催の「雄勝支部土地改良関係役職員講習会」において、「この 5 年を振り返って」として国政での活動内容の報告、「最近の農政を巡る状況と今後の展開方向」と題して、に米の問題と地域振興に重点をおいて講演を行いました。
- ・ 12 月 13 日、滋賀県東近江市で開催の「土地改良区・市町・県役職員研修会」において、特別講演として、「農政の現状と今後の展開方向について」と題して、米の問題に焦点をあてつつ地域政策の重要性について講演を行いました。
- ・ 12 月 15 日、愛媛県松山市で開催の「土地改良区役職員研修会」において「最近の農政の現状と今後の展開方向について」と題して講演しました。

=====